

ねりいた 練板ベー通信

2005年11月3日
練馬板橋ベーゴマの会

番外編

所沢に咲いた大輪はキイチ、5歳児の王者だ

決勝3人をNIBが独占、2位ライキ、3位Mr.高橋、ヤッタぞNIB!

第11回目を迎えた「所沢ベーゴマ大会」、初代チャンピオンはご存知トシ田口だ。10年前何気なく参加したトシは、並み居る競合を蹴散らし、その榮譽をつかんだ。トシの脳裏に昔の記憶がよみがえり、このことがトシのベーゴマ人生の出発点となった。そんな伝統を持つこの大会に、昨年の雪辱を果たすべく乗り込んだ22名、振り返りは真っ平ゴメンだ、今年のNIBを甘く見るなヨー。

所沢の空はどんより曇ったベーゴマ日和り。屋台からはうまそうな匂いがたまねえ。早く終わってビールで一杯といきたいが、そんな気楽な大会じゃない。参加者144名、4人同時入れの1人抜けだけにちょっと気を抜けば敗退につながる。それでも、キイチ、ヒロナオ、ワッチャン、グッチ、ダイゴ、ライキ、あかねちゃん、篠トモのこどもたちと、釣人今村、トシ田口、イッサ望月、まみい、カイチョー、Mr.&Mrs.高橋の15名が予選通過しちゃったんだからたいしたもんだ。強いぞNIB。

しかし、二次予選からはNIBの食い合いだ。9組に分かれたがどの対戦もNIB同士の戦いだ。中でもH組はヒロナオ、あかねちゃん、ダイゴ、トシ田口の4人。ここで初代チャンピオンのトシ田口がダイゴに食われちゃったのは痛かった。4人入れはむずかしい、でもそれだけこどもが強くなったってことだなあ。



Mr.高橋、キイチ、ライキ おめでとう!



NIB三人の優勝決定戦。マジ、燃えました!

去年のチャンピオン大原父もNIBの強さにタジタジ、ビクビク

準決勝に進んだダイゴとMr.高橋に立ち塞がったのは去年のチャンピオン大原父だ。40gを超す重いベー、リキもある。その大原父が先に2勝し、ダイゴ、Mr.の二人は崖っぷちに立たされる。しかし百戦錬磨の二人は2勝目を上げ同点とし大原父を追い込む。ギャラリーも熱い。NIB総出でダイゴ、Mr.へ声援を飛ばす。さすがの大原父もこの雰囲気飲まれたか、ヒモを巻く指が小刻みに震える。これを見逃さないMr.高橋が冷静に攻め3勝目をゲットし決勝戦へと進んだ。

決勝に残ったのは何とMr.高橋、ライキ、キイチのNIBトリオだ。誰が勝ってもNIB優勝、たまないねえ。ライキ、キイチの声が飛び、Mr.は苦笑いだ。悪役に徹するMr.はライキが相手と果敢に攻める。しかしパッカン、パッカンで一向に勝てない。終わってみればキイチの3連勝! わずか5才児が夢の初優勝とは恐れ入った。ギャラリーから温かい拍手と歓声が沸く。飄々としたキイチの手には優勝トロフィーが。おめでとう、キイチ。ここがキイチのベーゴマ人生の出発点だ。

